

令和 6 年度第 3 回
千葉市社会福祉審議会高齢者福祉・介護保険専門分科会
あんしんケアセンター等運営部会

1 日 時 令和 6 年 1 2 月 2 3 日(月)

2 場 所 千葉市役所新庁舎 2 階 XL 会議室 2 0 1 ・ 2 0 2

3 出席者 (委 員) 井上 恵子、岡田 法子、合江 みゆき、雑賀 匡史、島田 晴美、
太齋 寛、谷村 夏子、永井 一宗、初芝 勤、松崎 泰子、水谷 洋子、
和田 浩明

(五十音順 敬称略)

(委員 1 4 名のうち 1 2 名出席)

(事務局) 白井健康福祉部長、高石高齢障害部長、渡辺地域包括ケア推進課長、内山在宅
医療・介護連携支援センター主査、和田健康推進課長、清田高齢福祉課長、上
原介護保険管理課長、渋谷介護保険事業課長

4 議 題

(1) 公開 介護予防支援事業等の委託および指定について

(2) 公開 令和 7 年度千葉市あんしんケアセンター運営方針について

(3) 非公開 令和 6 年度あんしんケアセンターの公募について

5 議事の概要

(1) 介護予防支援事業等の委託および指定について

事務局より資料に基づき説明を行い、質疑応答を行った。

(2) 令和 7 年度千葉市あんしんケアセンター運営方針について

事務局より資料に基づき説明を行い、質疑応答を行った。

(3) 【非公開】 令和 6 年度あんしんケアセンターの公募について

事務局より資料に基づき説明を行い、質疑応答を行った。

令和6年度第3回千葉市社会福祉審議会高齢者福祉・介護保険専門分科会
あんしんケアセンター等運営部会

6 会議経過

	松崎部会長が議長となり議事を進行した。 ～議題1 公開議事～ 議題1 介護予防支援事業等の委託および指定について (渡辺地域包括ケア推進課長より説明を行った。) 議題1についての質疑応答
松崎部会長	議題1に関しましてご意見等、ございますか。
雑賀委員	介護予防支援事業の指定を受けると居宅介護支援事業所がセンターを経由することなく、直接予防プランを作成できるのでしょうか。
臺野地域包括 ケア推進課主 査	おっしゃるとおりです。
雑賀委員	千葉市は指定を受ける事業所を増やしたいのでしょうか。
臺野地域包括 ケア推進課主 査	センターの負担軽減のため、指定を受ける事業所が増加することを希望しています。しかし今回の法改正では、介護予防支援のプラン作成のみ、指定を受けた事業所が直接担当できます。介護予防ケアマネジメントは引き続きセンター以外で担当できないため、利用者が総合事業のみ（例えばヘルパーのみ）の利用となった月が発生した場合に備えてセンターとの契約締結も必要となります。そのため全国的に指定が進んでいないのが現状です。本市としても法整備が進まないと指定の拡大は難しいと考えております。
島田委員	この法改正は居宅介護支援事業所にとってはデメリットが多く、船橋市でも指定を受けた事業所は0件です。センターを通さず直接プランを作成できることはメリットですが、事務負担が増えるにも関わらず報酬はあまり増えません。さらに先ほど説明のあったようなデメリットもあります。もっと指定を受けるメリットがないと事業は拡大しないと思います。 船橋市では指定を受けた場合、予防プランの作成依頼を断ることができません。さらに要支援者の取扱い件数が要介護者の3分の1となったことで、ケアマネジャーが

	疲弊してしまう可能性があり、指定を受けることは難しいと考えています。
和田委員	センターより委託先の居宅介護支援事業所が見つからないという報告はありませんか。
臺野地域包括ケア推進課主査	多くの報告を受けています。
和田委員	介護報酬をもう少し引き上げる必要がありますし、ケアマネジャーの数も増やさないとはいけません。また、個別避難計画の作成も他の事業所の半分の報酬で依頼される等業務が過多となっています。
松崎部会長	議題1に関しましてその他ご意見等、ございますか。 (質問、意見等なし) (承認を確認)
松崎部会長	それでは議題1につきまして、承認とさせていただきます。 以上で議題1を終わります。 ～議題2 公開議事～ 議題2 令和7年度千葉市あんしんケアセンター運営方針について (渡辺地域包括ケア推進課長より説明を行った。)
松崎部会長	議題2についてのご意見等、ございますか。
松崎部会長	運営方針の内容に大きな変更はありますか。
渡辺地域包括ケア推進課長	大きな変更はありません。
谷村委員	千葉市ではインフォーマルサービスの情報を、どのようなサービスが何件程度あるのか、センター利用者にどの程度情報提供しているかを把握していますか。また情報はどのように整理しているのでしょうか。今後インフォーマルサービスの活用は重要

	になると思われます。
渡辺地域包括 ケア推進課長	本市では平成３０年度の途中から「Ayamu」という電子の情報公開サービスを導入しました。導入当初は約１，１６０件の通いの場や生活支援サービスが登録されていました。令和５年末は１，８３４件の資源が登録されています。 ちなみに新規資源は１年間で約８０件把握しています。
谷村委員	「Ayamu」は活発に情報が更新されている資源と、全く更新されていない資源があります。せっかく情報が多数掲載されているのでもう少し見やすい様な工夫や、「Ayamu」の周知活動をしてはいかがでしょうか。
渡辺地域包括 ケア推進課長	ケアマネジャーがケアプランに地域資源をもっと位置づけられるよう、ケアマネジャー向け研修等で「Ayamu」の周知を行いたいと考えています。
水谷委員	第２層生活支援コーディネーターが地域を回り、資源の更新調査等を行っています。また美浜区のセンターは、高齢者にとって使い勝手がいいように、インフォーマルサービスを紙に編集したものを独自に作成し自治会経由で各戸に配付していますので、情報は活かされていると思います。生活支援コーディネーターを配置したことは本当に良かったですし民生委員も助かっています。
松崎部会長	議題２に関しましてその他ご意見等、ございますか。 (質問、意見等なし) (承認を確認)
松崎部会長	それでは議題２につきまして、承認とさせていただきます。 以上で議題２を終わります。 ～議題３ 非公開議事～ 議題３ 【非公開】あんしんケアセンターの公募について ・・・非公開議事のため、発言内容も非公開・・・ それでは、以上で本日の審議を終わらせていただきます。 ～終了～